

特集 1

新入生へのメッセージ

— 教官から・先輩から —

皆さん、本日は入学おめでとう
ございます。

皆さんは、わが大学が二十三年
の歳月をかけて実施してきた統合
移転が完了するという、記念すべ
き年に入学されました。東広島市
のこの西条キャンパスは、国立大
学としては日本一の広さを有して
おり、これで、医学部、歯学部を
除く九つの学部が、この地に勢ぞ
ろいすることになりました。

これだけの広大なキャンパスと、
人的・物的な大学のスケールは、
日本はもちろん、外国のどの大学
と比べても遜色のないものです。
諸君は、広島大学にとってのこの
記念すべき年に入学されたので、
本行われる多くの記念行事に立
ち会われることにもなりましょう。

さて、日本にとって、今年には戦
後五十年、広島にとっては被爆後
五十年という、節目の年でもあり
ます。日本中で、また世界中で、
多くの人々がこれまでの半世紀を
振り返り、未来に向けての力強い
一歩を踏み出そうとしている今年
は、奇しくも、わが広島大学にとっ
ても長年の懸案であった統合移転
を完了し、真の総合大学としての
新たな一歩を印すという、節目の
年になるわけでありませぬ。

人類の歴史の上からみるとほん
のわずかの時間であるとはいえ、
この五十年の間には、日本でも、
諸外国でも、多くの変化がみられ
ました。科学技術の発展には目を

見張るものがありました。が、さま
ざまな地域的な紛争は、この間も
絶え間なく続いていることを、忘
れるわけにはいきませぬ。

諸君がこれから身を置くことに
なる大学においても、この五十年
の間にいろいろな変化がありまし
た。主に、大学を取り巻く社会状
況の急速な変化に対応する形で、
これらの変革は起こってきました。
大学を取り巻く状況は、現在も厳
しいものがあります。大学の改革
は、今後もしつそう真剣に行われ

悠久の時を生きるために

— 知的創造力を鍛えよ —

広島大学長 ◆ 原田 康 夫

るでしょうが、それは、大学とい
うものの存在の意味を不断に問い
直す営為でもあるのです。

諸君は苦しい受験勉強を経て、
今、広島大学に入学しました。こ
れまでの教育課程では、諸君は、
学ぶこと、教えられることにやや
受け身であったかと思いますが、
大学生となった今からは、勉学と
人生に対して、みずから目標を立
てなければなりません。大学で何
を学び、何を求め、何をするか、
自分で考え、自分で選択する時が
来たのです。

広島大学は、諸君一人ひとりが、
自分で決めた将来の目標に向かっ
て前進できるよう、勉学のほか、
課外活動等の手助けをするための
設備や人材を十分に整えています。
安心して学生生活に立ち向かって
ください。

わが大学には、すべての学部に
大学院が整備されています。そし
て、大学院のさらなる充実を図る
べく、各学部の教官は、学部の壁
を越えて共同研究にも励んでいま
す。



特に国際協力研究科は、日本人
学生と留学生を対象として、国際
的に活躍できる学生を育成するた
めの大学院であり、わが大学の教
育理念の一つである「国際性のある
人材」育成のために、学部の枠
を超えて昨年設置されたものです。

本年は、さらに新しい教育・文化
に関する専攻も発足します。
大学が持つもう一つの使命は、
諸君が在学中に、自らを知り、志
を立て、すぐれた人格を形成する
ことにあります。長い間の、規則

づくめの生活から解き放たれ、諸
君は自由な心を持って多くの人と
交わり、真の友を見つけることも
できるでしょう。先輩、後輩、友
人との自由な交流のなかから、深
い友情とお互いの尊敬の念を育
てていただきたいと願っています。
す。のびやかな心を持って人生の
目標を探すためにも、諸君は、若
いこの時を無駄にははいけませ
ん。

諸君は、来たるべき二十一世紀
の担い手です。わが国はとりたて
ての資源もなく、小さな国であり
ますが、そんななかでの最大の資
源が、諸君の知的な創造力です。
今、我々が直面しているのは、
二十一世紀に人類が共存してゆく
ための地球環境問題であり、エネ
ルギー問題であり、食料問題であ
ります。また、急速に進行する高
齢化問題も重要です。こうしたも
ろもろの難問に対応し、それを乗
り越える知恵と勇気を得るために
諸君の大学生活があるのだ、とも
言えませぬ。諸君には、限られ
た大学生活においてベストを尽く
していただきたい、と心から願う
ものであります。

広島大学のこの広大な新キャン
パスで、勉学に、またそれぞれの
楽しみに打ち込んで、立派に育つ
てゆかれることを念願して、私
お祝いの言葉といたします。
本日は、まことにおめでとうござ
います。(はらだ・やすお)

自らの課題意識を大切に

総合科学部長 ◆ 渡部 三雄



総合科学部に入学された新入生の皆さん、入学おめでとう。

総合科学部は、一昨年春に新キャンパスへの移転を完了、昨年は学部創立二十周年を祝った。本学部にとって、いろいろな意味で新しい歴史に向けての出発のときである。世界的な諸情勢が激しく、複雑に変化する二十世紀末の時代背景のなかで、専門深化型の伝統的な学部では十分には対応できない現代社会の諸課題の解決を目指す本学部への期待は、ますます大きい。

皆さん自身は、何を期待し、何を学びたくて総合科学部を選び、入学してきたのだろうか。たぶん非常に多様であろう。「地球環境問題について学び、社会に貢献したい」など、はつきりとした目標をすでに決めて意気こんでいる人もいるだろうし、まだそれほど確かな目標をもたない人も多いだろうが、皆さんそれぞれに将来の夢をもち、将来へ向けての自らの課題を意識していることと思う。これから始まる総合科学部での勉強のなかで、自らの課題をまず確認し、その課題意識をより確かなものに育てることが大切である。

二十一世紀に向けての人類が抱える課題の多くは、既存の学問の枠内ではとらえることができない。新しい学問、新しいパラダイムの創出が必要である。将来、このような魅力的な仕事に挑戦するためには、基礎的な学問を十分身につけるとともに、広い視野をもつことが必須である。また、単なる知識の学習では、新しい課題の解決には立ち向かえない。自ら学び自ら道を切り拓く力、自立的な創造的な思考力を身につけねばならない。

皆さんの将来に期待し注文が多くなったが、これからの四年間、楽しく学び、そして遊んでほしい。

(わたべ・みつお)



西図書館前のスペイン広場 (学生によって名づけられた「スペイン広場」のいわれは、映画「ローマの休日」の舞台となった「スペイン広場」からとったものであろうか。)

鏡山の恋人たちへ

総合科学部学生 佐藤幸恵



新入生の皆さん、入学おめでとう。

皆さんは、この総合科学部で何を学ぼうと思っているだろうか。受験から開放された今、遊びたいという気持ちでいっぱいだと思います。大いに遊んで結構。遊びの中で学ぶこともたくさんあるのだから。総合科学部では、さまざまなキャラクターの人が押し合いへし合いしている。考えていることや専門のまったく違う人が、隣に座っていたりする。そんななかで楽しみ、人にもまねながら自分を見つけてほしい。

一年後にはコース選択が待っている。自分が本当に学びたいと思えることを見つめるためにも、あらゆることにチャレンジしていく姿勢が大切だと思う。

高校時代と違って、大学生活では待ついても何も入ってこない。自分から求めていかなければ、何も得ることができないところなのだ。だからこそ、大いに自分から求めてほしい。

皆さんが、良き先輩、良き仲間に来て、有意義な大学生活を送れることを祈っている。

(さとう・さちえ)

始めることは道のなかば

文学部長 ◆ 向山 宏



人間の祖形は、もともと男女が背中合わせにくっついた単体であったらしい。このアンドロギュノス族は、前後に手足や顔があるので喧嘩に強く、手足を引込めてミンチボールのように転がるので、逃げ足も速かったようである。神は傲慢になったからを真つ二つに切り裂いて、傷口が見えるように頭の向きを変えた。

それが現在の人間の姿である。それで、いまでも人間は年頃になると、切り裂かれたかつての片割れを探し求め、せつない思いで放浪するようになる。そして、運よく恋しい片割れに巡り会うと、しっかりと

抱き合って、お互いの傷跡(へそ、オンファロス)をこすりあわせて涙にくれるのであり、これが夫婦というものである。

おそらく、諸君はまだ片割れの探索に年期がはいっていないので、人恋しい不足感はあるけれども、自分の片割れを見つめるには至っていないであろう。この充たされない青春期の恋心が、若者をしてフィロソフィア(愛智)に導くというのが、この話を伝えるプラトンの真意であろう。われわれが純粹に知に惹かれる期間が、さほど長くはないのである。

そのような年齢にある諸君が、わが文学部に入学された。おめでとう。ようこそ。

諸君は自ら選んで、すでに所属する学科や専攻までも決めている。すぐにも好きな仕事を始めてもらいたい。始めることは、すでに道のなかばに在ることなのである。

(むかいやま・ひろし)



彩文三足土器
イラン西部・ルリスタン地方、テベ・ギヤン出土。紀元前3,000年紀(考古学教室所蔵)

ウエルカム・トウ・西条
—いらっしやあい(三枝風)—

文学部学生 足立桐哉

寺家、八本松、土与丸、何と愛らしい地名であろうか(ちなみに、土与丸は「トヨマル」と読む。「トヨマル」と読むことなかれ、男性諸君)。これらが、君たち新一年生がこれから四年の間生活をせざるを得ないであろう(学園都市)西条における地名の数々である。単純にして特色に溢れ、かつ明解。西条の全てを象徴しているといっても過言ではない。君たちの青春を奪い取るであろう学問の都である。このような特異な環境のもと、大学時代を送るにあたり、上級生として言えるのは、「楽しめ」まずこの一言であろう。



ろくに西条という土地を調べず大を受験してしまい、受験日当日に「しまった!」と思った人、そんな貴方にこそこの言葉を実践してほしい。つまり、「面白くないなら自分で面白くしろ」ということである。「西条が嫌なら広島に行け」「遊ぶ所がなければ自分の家遊び場にしろ」「頼むから、恋人をつくって家庭にこもるのはやめてくれ」「三か月でヒビの入る校舎は嫌だ」「野犬(ドーベルマン風)は怖いぞ」。移転の人柱となり、西条で野生化した先達の雄叫びは熱い。
(あだち・きりや)



Fashion Performance in Saijo, '94
教育学部家政教育学専修主催

自己陶冶の習慣を

教育学部長 ◆ 小笠原 道雄



教育学部入学生の諸君、入学おめでとう。今、入学のよるこびの中にある諸君に、先輩として望むことは、ひとりの人間の生涯にわたる人間形成を自己の問題として考える、あるいは捉える習慣を身につけていただきたい、ということである。それは今日迄、諸君が受けてきた「教育」に対する反省から出発することもあろうし、あるいは、自己が学んだ「教育」が糧となる場合もある。だが少なくとも、そこでの「教育」概念があまりにも狭く貧しいものであることが自覚される時、諸君にとって新たな「教育観」——自分で自己の内に理想像を描き、その像を目指して激しく格闘し、努力し、自己実現を図る——という「自己陶冶」の思考が展開されてくるのではなか

ろうか。その思索と行為の展開を、私は諸君の教育学部での生活に期待している。

二十一世紀の生涯学習社会の到来を視野に入れた「自己陶冶」をわがものとす習慣を、ここ西条の地で、新たに会おう学友、教師、あるいは市民との交わりの中で身につけ、それを教育、研究の基盤にしていきたい。

最後に、大学生活には青春を謳歌するよう楽しい面もあるが、しかし、教育、研究という大学生活に固有で、厳肅な面を決して忘れないでいただきたい。どうかこの二面を調和させ、充実した大学生活を送られることを祈念している。

(おがさわら・みちお)

豊かな自然のなかで

教育学部学生 河野安美

長い受験生活を経て広島大学に入された皆さんに、心から祝福を送りたい。

私も同じ受験生活を乗り越えてきただけに、皆さんの喜びと開放感がよく理解できる。それと同時に、新しい生活に対する期待と不安があることも。



大学は、中学や高校時代のような受動的な態度では何も得られないところである。そしてまた、積極的態度で臨めば何でもできるところである。

広島大学は、豊かな自然と広々とした環境に囲まれた総合大学である。四年間の学生生活を送るには最適な環境といえる。

四年間の学生生活を意義あるものにできるかどうかは、あなた次第である。

皆さんの学生生活が、意義あるものになるよう頑張ってください。

(かわの・やすみ)



人間が人間を磨く

学校教育学部学生 松田晃樹

学校教育学部に入学した後、自分が本当にやりたいことは何かということに必死になつて追い求めてきた。そのなかで、人と人との出会いはこの上なく面白いものであり、人間と真剣に接することは最高に素晴らしいということを見つけた。



新入生の皆さんの前途には多くの出会いが待っており、そこには楽しいことばかりでなく、つらいこと、悔しいこと、苦しいこともあるかもしれない。しかし、それらの経験の一つ一つが貴重だと思う。つらい経験こそが自分を大きく成長させてくれると考えるからだ。

そして、出会いは待っているのではなく自分からつくっていくものである。自ら積極的に行動し、心を開いていけば、必ず自分のやりたいこと、愛するものがみえてくる。

「ダイヤモンドがダイヤモンドを磨く」のたとえを引用すれば、「人間が人間を磨く」のである。出会いを大切に自分を磨き、新しい自分を発見してほしい。大学での生活は、まだ始まったばかりなのだから、新入生の皆さんの無限の可能性に乾杯!
(まつだ・こうき)

思いやりとともに実行を

学校教育学部長 ◆ 間田 泰弘



教育に関心と意欲をもって学校教育学部に入学してきた新入生諸君！
君たちを心から歓迎する。

この日を迎えることができたのは、君たち自身の多大の努力の成果である。同時に、君たち自身の力だけでなく、家族、恩師、友人等多くの人々の支えによってここまで育てられたということも否定できない。また、生きてきたということは、無償で活動している未知の人からの助成を間接的に受けてきたということにもなる。

日本人のボランティア活動は一部の人に限られている、と聞く。また、わが国は受験社会、競争社会であり、社会奉仕の心が醸成されにくいとも言われている。

しかし、表面に表れてはいないが、我々の社会はさまざまな無償の善意によっても支えられている。それは困っている人を対象としたものだけでなく、日常生活においても無数にみられる。

このような善意やおもいやりと実行力は、どんな教育によってもたらされるのであるうか。

これから君たちは、「学校教育」に関して専門的な勉強



教育実習 (子どもとあそぶ)

を始める。その「教育」は、他に働かせるということが基盤となっており、さらには、他人のために行動し、役立つことに大きな意義をもっている。即ち、基になる部分では、教育と無償の善意とは深い関係にある。

教育に志をもつ大学生として、あらゆる勉強に積極的に取り組み、それが社会で活用できるよう充実した生活を送って欲しい。

それによって得られた心の広さと多様な人との交流経験は、大きな財産となるであろう。

(まだ・やすひろ)

出発！

法学部長 ◆ 辻 秀典

入学おめでとう。

この時季に気分が若返るのは毎度のことだが、今年はとりわけ新鮮な気持ちで君たちを迎えることができる。

いうまでもなく、一つは、新キャンパスに君たちを迎え入れることができるからだ。立派な、「国立大学離れ」した学棟と自然にあふれるキャンパスで、君たちは大学生としてのスタートを切ることになる。もう一つは、昼夜開講制・夜間主コースのスタートだ。これからは昼間においても受講が可能となり、したがって、四年で卒業ということになる。君たちそれぞれの生活スタイルにあわせて勉強することが容易になった。

君たちは、新キャンパスの、また夜間主コースの第一期生だ。一期生としての誇りをもって、新たな、充実したキャンパスライフをつくりだ



してほしい。

私たちは、移転を機に学部のシンボル樹として「しらかし」を選んだ。地に深く根を張り、天におかかってそびえるたくましい樅のように、学部を発展させたいと願ってのことである。君たちもそう育ってほしい。私たちが力いっぱい応援する。

「世界一列春だから
なんと君らが誇りに

光に向かって飛ぶことだ」

(三好達治)
(つじ・ひでのり)



法学部・経済学部の新校舎

新入生を迎えるにあたって

法学部学生 吉武雅子



新入生の皆さん、ご入学おめでとう。私も、三年前の今頃は、皆さんと同じように見るもの聞くもの全てが新鮮で、これから始まる大学生活を前に期待に胸をふくらませていたものだ。

大学生になってからの三年間、さまざまなことを経験した。オリキヤンに参加したことに始まり、サークル探しに一生懸命だったこと、小穴法を買って法学部生なんだと実感したこと、新入生歓迎キャンプや千田祭のスタッフをしたこと、アジア大会のボランティアを通じて私もアジアの一員なんだと実感したこと、アルバイトや一人暮らしを通じて両親のありがたさを痛感したこと等々、教えあげればきりが無い。

大学生になって、私の活動範囲は随分と広がったように思う。興味を持ったものに対して貪欲だったからであろう。もちろん、そのような大学生活を語るうえで、恩師や友人の存在は欠かすことのできないものである。皆さんも、大学での多くの出会いを大切にして、自分の世界を広げてほしいと思う。

新入生を迎えるにあたって、初心に戻り、残り一年となってしまった私の大学生活を充実したものにしていきたい。

(よしただけ・まさこ)

自己開発

経済学部学生 喜多智恵美



新入生の皆さん、入学おめでとう。今年から本学部も西条の仲間入りということで、皆さん同様ピカピカの一年生である。心機一転、新たな気持ちでこの扉を開いてみよう。

さて、これからの生活への期待で胸をいっぱいしている皆さんに、一先輩として一つだけアドバイスしておきたい。

それは、自己開発である。自己開発というと大仰に聞こえるが、要は、自分が夢中になれるものを一つ見つけて、それに打ち込んで欲しいということである。「あなたは、大学生活で何をしましたか」と聞かれたときに、自信をもって答えられるかどうかで、来たるべき就職活動の際の自己分析に大きな違いがあるためである。

そういう意味で、本学部は他学部に比べて時間的に融通の利く学部なので、一年一年を有意義なものにしてもらいたい。皆さんの学生生活が、幸多いものとなることを祈りする。(きた・ちえみ)

急がば回れ!

経済学部長 ◆ 佐野進策



経済学部入学の諸君、入学おめでとう。厳しい受験勉強を終え、いま将来に対する大きな夢を描いておられることと思う。

ところで諸君のなかには、早くも今日の国内外の経済問題に関心を持ち、自分なりの取り組みを考えている人も多くいるであろう。実際、諸君の先輩の卒業論文のテーマは、近年、純粋理論よりも現実そのものを扱ったものが断然多い。現実問題に関心を持ち、問題を解決したいという情熱はすばらしい。

ただし、次の点に留意しなければならぬ。問題の本質を十分理解せず、そして、分析道具を十分身につけずに現実問題を議論するのは、武装せずに戦場に出るようなもので、結果は目に見えている。諸君がこれ

から経済学部で学ぶことは、その武器を身につけるための勉強でもある。他方、問題の本質を見定めるには、直感力とか総合的な判断力が大切である。

それらを磨き、身につけるためには、経済学の多くの専門的知識に加えて、一般的な教養も必要である。経済学で「迂回生産の理論」というのがあがるが、常識的に言えば、「急がば回れ」ということである。大学を卒業してから社会に出ること自体が「迂回生産」である。

「学問に王道なし」ということわざがあるが、諸君が、地道に、オーソドックスに経済学を学ばれることを期待する。諸君の健康と活躍を祈る次第である。(さの・しんさく)

楽しく基礎科学

理学部長 ◆ 牟田泰三



夜釣りで大島の波止に出かけた。さっぱり釣れない。真夏の波静かな夜である。たまたま隣で釣っている二人の釣りの話が聞こえてきた。

中年の釣師「潮が満ちたり引いたりうのんは、不思議じゃのお」
老釣師「ありやあ、月の引力のせいじゃけーのお」

中年の釣師「へえー、月の引力! そりゃ知らんかったのお。ほいじゃが、大潮やろ小潮やろもあるじゃろうが」

老釣師「考えてみいや、満月やら半月やらあるうが、あれじゃ」

中年の釣師「はあ、はあ、ほうよねえ。こりやあ、ええ勉強さしてもるたのお」

隣で吹き出しそうになりながら聞いていたが、まてよ、考えてみれば、これが基礎科学の教育というものの原形かも知れないなあ、と思えてきた。

ここには潮の満ち干(みちひ)という観測事実があり、それを説明する月の引力という理論がある。それに何よりも、瀬戸内の釣り人にとって、これは重大関心事なのだ。大宇宙から、地球、生物、物質、原子・分子、原子核、素粒子にわたって、我々のまわりは不思議なことであふれている。これらを素直に不思議と思ひ、わけを考え、尋ね、教えられる、という関係が教育の基本であろう。

基礎科学の最前線で展開されている研究の雰囲気や学生諸君に伝え、ともにわくわくしながら学問に取り組むことができれば、これにこしたことはない。しかしながら、こんにち、研究の最前線と教育の現場との距離は遠い。このギャップをできるだけ埋め、授業やセミナーや実験や

実習を魅力あるものとする努力が必要である。

理学部でも、一貫教育課程のもとにこのような努力を積み重ねている。新入生諸君が卒業の時点で、広島大学に学んだことを満足感を持って振り返ってくださるような、そういう学部でありたいと願う。

①潮の満ち干の引力によるが、潮流による時間差があるため、満月や新月が即大潮というわけではない。
(むた・たいぞう)



理学部校舎全景

勉強のススメ

理学部学生 三戸秀之

新入生の皆さん、
大学入学おめでとうございます。
うございます。受験勉強も終わり、
これからは自分の好きな勉強が思う存分できる、と意気込んでいることでしょう。



今の気持ちを忘れずに、一年のうちから自分の好きな勉強に打ち込んでみてください。まじめに勉強していると、学問の本当の楽しさがわかるようになるのかもしれませんが、もし、楽しみながら勉強できたら、それはすばらしいことではないでしょうか。

話は変わりますが、理学部に入学した皆さんは、もう大学院のことを考えているかもしれませんが、我が物理学科では、三年生から四年生を飛び越して大学院に進める飛び級の制度もあるので（他学部は知りません！）、一年生の皆さんはこれを目標として勉強していくのもいいでしょう。

最後に、えらそうなことは言えませんが、後で後悔することだけはなような充実した大学生活を送ってください。

(みと・ひでゆき)

地球規模の医療活動をめざして

医学部長 ◆ 調枝 寛治



入学おめでとう。

広島大学医学部は、医学科、総合薬学科及び保健学科の三学科をもつ唯一の国立大学である。しかも、電キャンパスには歯学部と原爆放射能医学研究所があつて、一大メディアカレッジとして発展しつつある。

医学、薬学に保健学を含めた現代医学は、分子生物学から最先端医療学、健康管理学、社会福祉学、さらに環境科学にまでわたり、その守備範囲は広い。まさに、医学・医療学は人の身体と心を対象とする総合人間科学である。

いま、社会が医学・医療に求めているのは、

最新にして最高の医療に加えて、最善の医療である。最善の医療は、病める人々に対して、単に医学的な立場からだけでなく、社会的、人間的な立場から対応されるべきもので、全ての医療従事者が効率的に連携して、医療チームとして総合的に医療を行うことが必要です。

それぞれの分野で専門職になるための基礎



医学部履キャンパス
臨床研究棟、基礎医学研究棟講義室、図書館をのぞむ

づくりをするなかで、学生時代から医・歯・薬・保健の各学科間で交流を深めて、チーム医療の実践者として、新しいタイプの医療従事者になっていただきたい。

二十一世紀の医学・医療は、病める人へのこまやかな対応を基盤にして、全ての住民に、広く公平に医療サービスを提供しなければならぬ。「国際性のある大学」をめざす広島大学の諸君は、医療活動も地球規模のものを考えて、頑張ってください。

(ちようし・かんじ)

大学生活をエンジョイする方法、教えます

医学部学生 上河内真由美



新入生の皆さん、
入学おめでとうございませう。今皆さんは、受験勉強から解放され、自由時間を手に入れ、大学生活をエンジョイするぞ！と意気込んでおられることと思う。私も、大学の新生活への期待は大きかったのを思い出す。

しかしその新生活も、馴れてしまえば日常生活。この日常生活をいかに満足できるものにするかが大切である。

自由な大学に居ながら、自分の生活に満足していない人は多い。何かいいことはないかなあ、という台詞をいたる所で耳にする。

けれど、大学生活を充実させるのは自分自身であることは、皆さんも知ってのとおりである。

手をこまねいて待っているのではなく、どんどん自分から行動してほしい。これまで受動的に生きてきた人も、大学生活の間に行動力を発掘してみてはどうだろう。今なら、そうする力も、時間も、チャンスもあるのだから。

(かみこうち・まゆみ)

新入生を歓迎して

歯学部学生 水野智仁



今年も新入生を迎える季節がやってきた。私も五年前、新入生として期待と不安をいだきながら広島に来たのを思い出す。月並みではあるが、この五年間はやはりあつという間に過ぎ去つたと言わざるを得ない。

大学生活を振り返ると、平日は勉強、休日はクラブの中で、先輩、後輩、また多くの友人ができたと思う。新入生の皆さんも、これから多くの人々と接していくことと思うが、それらを糧として大学生活を送って欲しい。大学生活をより良いものとするかどうかは、自分自身にかかっているということを言っておきたい。

最後に、私も、将来歯科医療の発展に携わっていく仲間が増えることを励みとしたい。

(みずの・のりよし)





診療風景

豊かな人間性を

歯学部長 杉中 秀 壽



新入生諸君、歯学部への入学おめでとう。
 広島大学歯学部は、今年の四月でちょうど三十周年を迎えることになった。卒業生も既に千三百名を超え、広島県下はもとより全国各地で、歯科医師として、また歯科医学の教育・研究者として、第一線で活躍している。

問として生かす力を与えることはできない。
 この問題を解決するためには、人間の「心」が必要で、急激な科学技術の発展に注目するあまり、我々とはもすればこの「心」を忘れがちである。特に、将来医療に携わる諸君にとつては、これが原点である。我々の学部でも「心」を取り入れた授業科目を増やし、人間を人間として扱うことができる医療従事者の養成に力を注いでいる。

この節目の年に入学してきた諸君には、先輩たちが培ってきた伝統を受け継ぎ、次の時代を担う高度歯科医療を遂行できる指導的立場の歯科医療従事者や、国際的競争にも太刀打ちできる研究者を目指すことを期待したい。

歯科医学を学ぶ者にとつてまず第一に要求されるのは、豊かな人間性である。現代の科学は、生命現象を説明したり、生物学的生命を延ばしたりすることはできても、人間を人

諸君も、これからの六年間に、豊かな人間性を養うためにもぜひ専門分野以外に幅広い教養を身につけ、またクラブ活動などを通して心が通い合う多くの友人を見つけ、さらに積極的にボランティア活動などにも参加して、人格の涵養に努めていただきたい。

(すぎなか・ひでかず)

自由な大学生活を 有意義に

工学部学生 田中基巳



新入生の皆さん、ご入学おめでとう。新しい生活を迎える皆さんは、不安よりもむしろ期待に満ちていることでしょう。

これから四年間、有意義な生活を送られるかどうかは君次第。人によつてやりたいことや目標は違ふと思いますが、とにかくチャレンジしてみることが大切だと思います。私は、高校時代に野球をしていましたが、今は自分でイベント企画のサークルを作つて運営しています。

このように、まったく変わったことをやってみてもいいし、今までやってきた自分の得意分野を伸ばしていくのもよいでしょう。君たちには、何らかの潜在能力があるはず。その能力が何であるかを、この大学生活の中で見つけてほしいと思います。

それから、大学生活の中で頼れるのはやはり友人です。喜怒哀楽を共有でき、ともに人生の坂を登れるような、そんな友人を積極的に作ってください。

(たなか・もとみ)

君たちは engineering の担い手

工学部長 ◆ 茂里 一 紘



入学おめでとう。長い受験勉強と入学試験の後だけに、諸君もきっと嬉しきでいっぱいであろう。入学をともに喜びたい。

君たちが選んだ工学は、英語では「Engineering」と言う。それを「engineering」と分解するとき、動詞の「engineer」は、「創意工夫をこらした、賢明で巧妙な考えや手法で事柄を計画したり実行する」という意味になる。「環境をengineerする」と言えば、諸々の複雑な要因の絡む環境の問題を、いろいろな視点に立つて理解し、多くの人々にとって幸せとなる解決策を何とか見出すという意味になる。

君たちはその担い手として期待されている。これからの四年間が、その担い手としての良き研鑽の場であつて欲しい。

(もり・かずひろ)

広島大学国際駅伝大会



工学部キャンパスの冬の名物行事「国際駅伝」(背景の並木は工学部のシンボルツリー「楓」で秋の紅葉は見事です)

次代を担う学生諸君へ

生物生産学部長 ◆ 三國 英 實



新入生の皆さん、入学おめでとう。
皆さんは、広島大学へ入学した感激をかみしめ、新たな意欲に燃えていることと思う。私たちは、大生として第一歩を踏み出した皆さんを心から歓迎する。

生物生産学部は、動物・植物・微生物に関する科学的知識を応用し、環境保全、食糧、人口などの地球規模の課題に応え、人類の福祉に貢献することを学部の理念として、研究と教育の向上をめざしている。大学の役割は、これまで人類が築き上げてきた学問の継承と発展にあり、学生の皆さんも大学の構成員として、その役割の重要な一翼を担っている。これからの学生生活は、単に教育を受ける立場から、自らも研究する立場へと成長する過程でもある。この過程を援助するために、わが学部では体系的なカリキュラムの形成に努力している。

新入生の皆さんに期待したいことは、現実を直視し、自分たちの



生物生産学部長校舎

身のまわりから地球規模で起こっている諸問題に関心を寄せ、大いに学習し、自分の進む方向を見定めていくことである。私は切磋琢磨という言葉が好きであるが、われわれ教職員と学生がお互いに切磋琢磨し、ともに高まっていくような大学環境をつくっていくのではないかと、皆さんが卒業する頃は、二十一世紀が目前である。二十一世紀に理想に向かって活躍できるように、充実した学生生活を送ってほしい。

(みくに・ひでみ)

財産を作ろう

大学院国際協力研究科長 ◆ 山下 彰 一



入学おめでとう。さあこれから大いに遊ぼうと考えている諸君に、耳寄りな話をしたいと思う。

学部を三年で通過して、他人より一年早く大学院に進む、いわゆる「飛び級」の制度を知っているだろうか。飛び級のための条件などは、それぞれ所属する学部の事務室に問い合わせたいが、その際の受け皿の一つとして、昨年度新設されたばかりの「国際協力研究科」がある。

この大学院は、アジアを中心とした発展途上国の諸問題を勉強し、途上国の開発や教育、環境保全などに関わる専門家や研究者の育成を目的としている。つまり、大学院修了後はアジア等で仕事することが想定されており、当然のように語学力が

要求される。

この研究科では、専門分野と同時に国際交渉力の養成に力を入れている。授業の一部は英語で行われている。また、学生定員の約半分は留学生なので、アジアの友と学び、将来を語らう楽しみが持てる。

君たちの先輩を見ると、英語力のレベルは入学時が最高で、卒業時には最低になって就職していく。もったいない話である。語学は時間に余裕のある学部時代にこそ力をつけるべきであるし、それは一生の財産になる。先で業をするために、学生時代にせめて一つくらい財産を残したいものである。

(やました・しょういち)



平成6年4月、本学初の大学院独立研究科である国際協力研究科発足

学生生活を心から楽しんで

生物生産学部学生 大條 正



新入生の諸君、入学おめでとう。大学生活という新しい世界に期待を膨らましていることだと思う。

君たちがこれから学ぶ大学というところは、高度化する社会のニーズに対応するための専門知識を習得する所である。これからの大学生活で、これからの社会に通用する立派な人間になってほしい。

また、広島大学は、数多くの学部を抱える総合大学である。サークル活動やボランティア活動、大学祭やスポーツ大会など数多くのイベントを通して他学部の学生と知り合うことができ、彼らとのふれ合いが君たちに幅広い知識を与えてくれるであろう。幅広い知識というものは、後の人生において必ず君たちの財産となるはずである。

大学生の本分である勉強だけでなく、自由な時間がいくらかもある一人暮らしを謳歌することで、さまざまな知識を得ることができよう。君たちが一日でも早く大学生としての生活ペースに慣れ、心から大学生活を楽しめるよう期待している。

(おおえだ・ただし)



作品提供「鬼ゆり」
工学部 島津信子さん

新入生諸君よ、奮起せよ!!

学生部長 ◆ 西村 清巳



新入生の皆さん、入学おめでとう。

それぞれに多くの夢を持って入学されたことと思う。大きな夢、中々の夢、小さい夢。どの夢も正夢にするための努力がある。ほって置いてころがりこむ夢は一つもない。夢の実現に向けて、方法を探り、忍耐力をつけ、創造力をつけるのが大学の生活である。

葉隠書に、「終わりを慎むこと始めの如くならば、不和の儀あるべからざるなり」という言葉がある。初心をねばり強く追求してもらいたい。

もう一つの注文は、国際人としての教養を身につけてもらいたいということである。とくに留学生が多くなった広島大学では、外国語に強くなること、外国の文化を知ること、外国人とつきあうことは、日常的にできるようなった。本当に国際人として大事なことは、世界的視野に立つてものごとを判断し、相手の立

場に立つて行動できることである。

外国人とつき合うために必要なマナーは、スポーツ・文化・芸術などの素養を身につけるとともに、日本文化について深く理解しておくこと、社会的なマナーを身につけておくことである。

さしあたって、ゴミや缶、ビンなどの散乱しない広島大学、喫煙場所以外ではタバコを吸わない、迷惑駐車はしない広島大学が実現すれば、国際人としてのマナーの一つが身についたことになるだろう。

自分に対して、他人に対して、外国に対して、地球に対して迷惑をかける心配ができることが国際人の出発点である。広島大学の学生の学ぶ姿勢、日常生活のマナーは、日本にきた留学生をがっかりさせることばかりという。

新入生諸君よ、奮起せよ!!

(にしむら・きよみ)

大学生生活の充実に 図書館の有効利用を!

附属図書館長 ◆ 前田 文之



新入生の皆さんは、これからの大学生生活についてそれぞれのイメージを頭の中に描いていると思う。その中に、大学の図書館を利用している姿があるだろうか。

ちょうど大学の統合移転が終了し、中央図書館も拡張工事が終わって、今まで広島市の東千田および東雲キャンパスにあった蔵書・資料類も移され、東広島キャンパスでの附属図書館の態勢が整ったところへ皆さんが入学して来たことになる。

まだ未整理の部分が残っているかもしれないが、これから使いやすい形に整備されていく筈であるから、大いに利用して欲しい。

東広島キャンパスには、中央図書館のほかに、総合科学部に隣接した西図書館と、工学部・生物生産学部

の近くの東図書館がある。とくに西図書館には、皆さんが1・2年次の学習に必要なであろう学習用図書が揃えられていて、早速出入りすることになる場所である。このほか、広島市の西キャンパスには、医学分館がある。

これらの図書館の利用方法については、オリエンテーションの図書館ガイダンスで一通りの説明がなされるが、皆さんは自分で積極的にこれらの図書館を探索して、何がそこにあるかを知り、どのように利用できるか思い巡らせてみるとよい。授業に関連した勉強以外の面でも、皆さんの学生生活を充実させる助けになるものを見つけれられることを期待している。

(まえだ・ふみゆき)



作品提供「コスモス」
工学部 島津信子さん

意志あるところに
道は開ける

国際協力研究科学生

西澤真理子



新入生の皆さん、入学おめでとう。

皆さんは、それぞれ大きな志を抱いて大学の門をたたかれたことと思う。ここは、皆さんのその夢を現実近づける場所である。自分の将来や世界の動向をじっくり見据え、これからの貴重な時間を大切に過ごしていただきたい。

学術の世界は奥深く、皆さんの知的好奇心を刺激し、新しい世界へといざなってくれることと思う。さまざまな専門をもつ先生がたや優れた書物から学ぶことは多い。また、国際協力研究科には多くのアジアからの留学生や社会人のかたがたが在籍しており、これら経験豊かで多彩な顔ぶれの友人たちから学ぶことは、さらに大きいかもしれない。

現在、私はこのような恵まれた環境のなかで、友人たちとともに学び、考え、友情を日々くみながら自分の世界を広げていけたらと思っている。

(にしざわ・まりこ)